





 **Genie Race⁵** COMPETITION HARNESS

Whilst Gin Gliders has made every effort at the time of publication to provide accurate information, product specifications are subject to change without notice and may vary from those shown.

目次

Genie Race⁵

ありがとう.....	4	ストレージ.....	27
警告.....	5	調整.....	28
ジニーレース5の紹介.....	6	ハーネス装着ガイド.....	32
仕様.....	7	フライトデッキの装着.....	36
ジニーレース5の構成部品.....	8	ジニーレース5でフライトする.....	39
フライトの前に.....	11	メンテナンスと修理.....	42
スピードバーの装着.....	11	最後に.....	45
シートプレートの装着.....	13	ハーネス図.....	49
バックプロテクターの装着.....	14		
バックプロテクターのメンテナンス.....	15		
サポートピラーの装着.....	16		
バラストコンテナの装着.....	17		
レスキューパラシュートの装着.....	18		
フットパッドの装着.....	23		

ありがとう

ジングライダーズを選んでいただき、
ありがとうございます。
新しいジンハーネスで、
多くの価値ある体験を
お楽しみいただけると確信しています。

このマニュアルには、安全性、性能、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。初めてのフライトの前に読んで、参考文献として保管し、ハーネスをリセールする場合は新しいオーナーに渡してください。

このマニュアルの更新または関連する安全情報は、当社のWebサイト(www.cisco.com)に公開されます：
www.gingliders.com. 当社のWebサイトから更新情報の電子メール登録を行うこともできます。

ハッピーフライトとセーフティランディングを！

GIN Team



GIN

！ 警告

他のエクストリームスポーツと同様、パラグライダーには怪我や死につながる予測不可能なリスクが伴います。フライトを選択することで、これらのリスクに対する全責任を負うことになります。適切な姿勢、トレーニング、経験を持ち、道具を正しく理解し、使用し、メンテナンスすることで、リスクを最小限に抑えることができます。常に知識を深め、自立心を養うように努めてください。わからないことがあれば、まずはお近くの販売店、またはジンの輸入代理店、もしくはジングライダーズに直接ご相談ください。

パラグライダー中に起こりうるすべての状況や状態を予測することは不可能であるため、本マニュアルはすべての状況下におけるパラグライダー用品の安全な使用について表明するものではありません。ジングライダーズおよびジン器材の販売者は、あなた自身や他の人の安全について保証したり、責任を負うことはできません。

多くの国ではパラグライダー活動に関する特別な規制や法律があります。パラグライダーを行う地域の規制を知り、遵守することはあなたの責任です。

使用目的: パラグライダーで使用される、最大積載重量
120kg未満の軽量エアスポーツエクイップメント

ジニーレース5 の紹介

ジニーレース5は、最高レベルのパフォーマンスを提供する一方で、優れた快適性と人間工学によって優位に立てるようデザインされています。

ジニーレース5の目標は、フライト中にハーネスを使いやすくしながら、完全密閉型ハーネスの最高レベルの性能に到達することでした。より構造的な生地を使用し、戦略的な場所にプラスチック補強材を導入することにより、シンプルですっきりとした形状とバタつきやばたつきに対する耐性の結果として、パフォーマンスに有利な外部プロファイルを維持することができました。

パイロットの人間工学は、快適性、ひいてはパフォーマンスを左右する重要な要素です。そこで、コックピット、開閉システム、トリミングなど、すべてを可能な限り使いやすくしました。その結果、このハーネスはコンペティターだけでなく、最もコンペティティブなクロカンパイロットにとっても素晴らしいものとなりました。

実証済みのエアロダイナミクス

ジニーレース5 これは、GIN LAB風洞での集中的な開発期間と世界中でプロトタイプで参戦したレースの結果です。



仕様

サイズ	XS	S	M	L
パイロットの身長 (cm)	>165	160-175	170-180	>180
レスキューパラシュートの容量 (L)	9.8	9.8	9.8	11
カラビナ間の距離 (cm)	44	45	45	47
シートプレート幅 (cm)	31	32	33	35
シートプレート長 (cm)	43	44	45	47
バラストコンテナ容量 (L)	10	10	10	10.5
アンダーシートポケット容量 (L)	3.8	3.8	3.8	3.8
レスキューブライダル長 (mm)	1220	1220	1220	1220

* インナーコンテナ 2個とレスキューブライダル 2個が付属します

* 3つのフットパッドが付属しています: 2.5cm / 5cm / 7.5cm

認証

ジニーレース5はENとLTFに認証を受けています。
最大積載重量120 daN 認証番号:PH 387.2023 | CE

デリバリーパッケージ

- 1 ハーネス本体
- 1 トリプレックスシートプレート
- 1 フライトデッキ (取り外し可能)、1Lポケット付き
- 1 フックナイフ
- 2 レスキューインナーコンテナ
- 2 レスキュー開傘ハンドル
- 2 レスキューブライダル
- 2 ジン 40mm カラビナ
- 1 バラストコンテナ (10L)
- 3 フットパッド (2,5, 5, 7,5 cm)
- 1 アンダーシートポケット 3.8L

バックプロテクション

コロイド 1.0

9cm バックプロテクター

CE / EN 認証

ハーネスコンポーネント重量

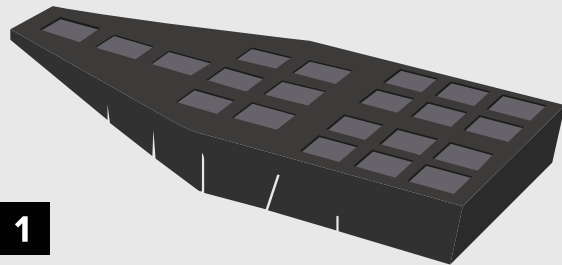
構成部品	XS	S	M	L
レスキュー開傘ハンドル 2セット	0.052	0.052	0.052	0.052
(kg)レスキューインナーコンテナ 2セット (kg)	0.052	0.052	0.052	0.052
レスキューブライダル 2セット (kg)	0.092	0.092	0.092	0.092
スピードバー (kg)	0.08	0.08	0.08	0.08
コロイド 1.0 (kg)	0.377	0.377	0.377	0.377
コクピットプレート (kg)	0.246	0.246	0.246	0.246
バラストコンテナ (kg)	0.254	0.254	0.254	0.26
カラビナを含まないハーネス重量 (kg)	5.5	6.2	6.347	6.8
ハーネス重量 (kg)	6.653	7.353	7.5	7.959

ジニーレース5 の構成部品

1 バックプロテクション

ジニーレース5にはネオコロイドバックプロテクターが付属しています。プロテクターは衝撃を受けた後、必ず点検し、破損の有無を確認してください。破損したバックプロテクターは、次に使用する前に交換しなければなりません。プロテクターは事故の際にパイロットを可能な限り保護しますが、負傷のリスクを完全に排除することはできません。ジニーレース5バックプロテクションはENおよびCE認証を受けています。

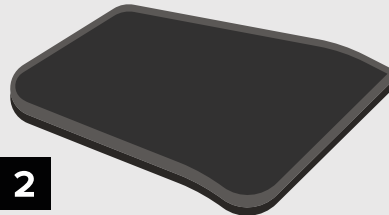
<https://koroyd.com/>



1

2 シートプレート

ハーネスには、トリプレックスシートプレートとトリプレックスフットプレートが含まれています。どちらも耐久性と強度に優れていると同時に、木材に代わるより軽量で耐久性のある代替品となります。



2

3 ジンカラビナ

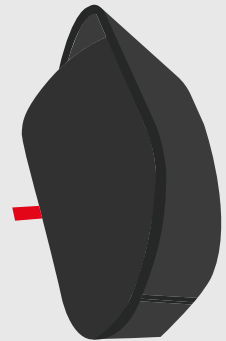
ハーネスにはジン30mmカラビナが2個付属しています。ジニーレース5はクイックリリースカラビナと互換性はありません。オートマチックアルミニウム製カラビナは、金属疲労のため寿命が限られています。5年または500飛行時間のいずれか早い方で交換する必要があります。スプレッダーとタンデムライザーの間でメインカラビナとして使用しないでください。また、レスキューパラシュートとブライダルの接続に決して使用しないでください。



3

4 フライトデッキ

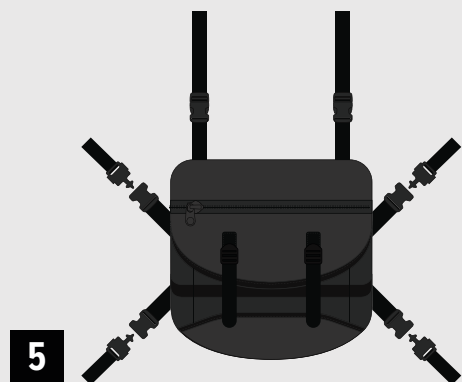
ジニーレース5ハーネスには、フックナイフを内蔵したカスタムデザインのフライトデッキが含まれています。フライトデッキはコクーンとシームレスにつながるように設計されており、GPSやバリオなどの飛行計器を収納するスペースがあります。また、フライトデッキには1Lのポケットがあり、フライト中にアクセスしやすいアイテムの収納や、パワーバンクなどの収納に便利なケーブルルーティングが施されています。



4

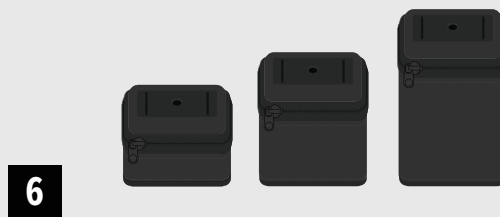
5 バラストコンテナ

ジニーレース5には容量9Lのバラストコンテナが付属しています。バラストの装着を容易にするため、上部にはフロントジッパーがあり、6本のストラップはフライト中に最適な吊り下げポジションと快適性を提供します。トップストラップはショルダーストラップに取り付けられており、地上でバラストをサポートします。ハーネスはバラスト容器を装着しなくてもフライトできます。バラストコンテナの取り付けについては17ページをお読みください。



6 フットパッド

インナー構造をハーネスのアウトershellに合わせるため、パイロットはフットパッドでベースの長さを調整する必要があります。長さは3種類：2.5cm、5cm、7.5cmの3種類のフットパッドをご用意しています。フットパッドの取り付けについては23ページをお読みください。



7 スピードバー

ハーネスには非対称スピードバーが付属しています。これにより、パイロットは各ステップで片足だけで使用できるため、スピードバープーリーを常に対称の位置に維持できます。スピードバーの取り付けについては11ページをお読みください。



8 フックナイフ

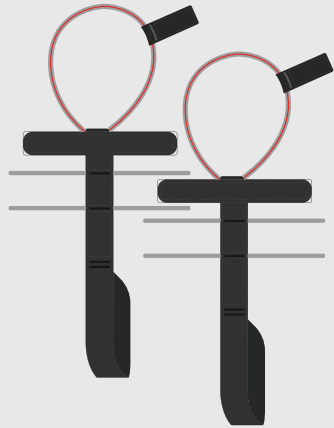
フライトデッキにはフックナイフが内蔵されており、フライト中に紛失しないようにセキュリティラインが付いています。フックナイフは、不慮の着水やパイロットがレスキューパラシュートに引きずられた場合などに、ライザーやラインを切断するための安全機能です。



9 レスキュー開傘ハンドル(2)

ジニーレース5には2つのレスキュー開傘ハンドルが付属しています。1つは右側用、もう1つは左側用です。レスキュー開傘ハンドルには、アウターシェルレイヤーとハーネス内のインナーコンテナを閉じるための2本のパラコードプラスチッククロッドが付属しています。テイクオフ前には必ずパラコードループをチェックし、レスキューコンテナが閉じていることを確認してください。

9

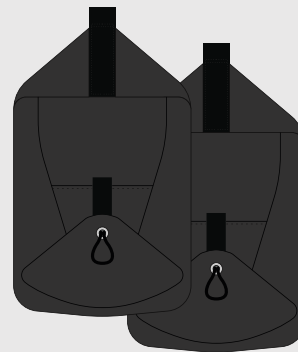


10 レスキューインナーコンテナ(2)

ハーネスには、2つのレスキュー用インナーコンテナが付属しています。レスキューを正しく取り出すためには、付属のインナーコンテナにレスキューを取り付ける必要があります。

18ページの正しい手順に従ってレスキューを取り付けてください。

10



11 レスキューブライダル(2)

ハーネスには300mmのレスキューブライダルが付属しています。ハーネスにはすでに取り付けられていますので、21ページの指示に従ってレスキューライザーに取り付けてください。

11



フライトの前に

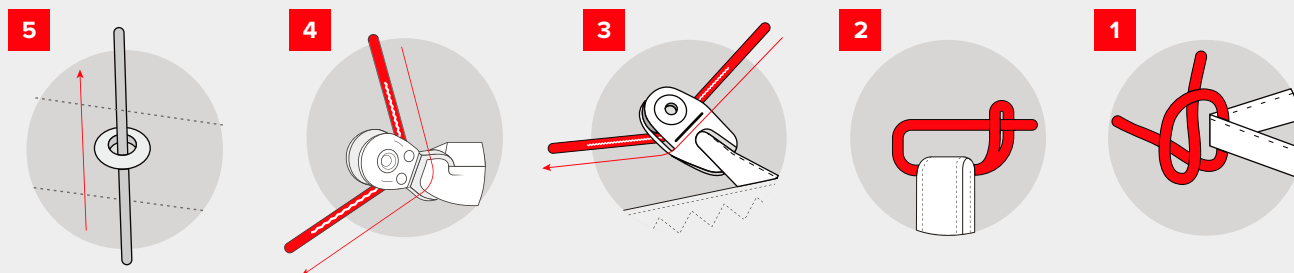
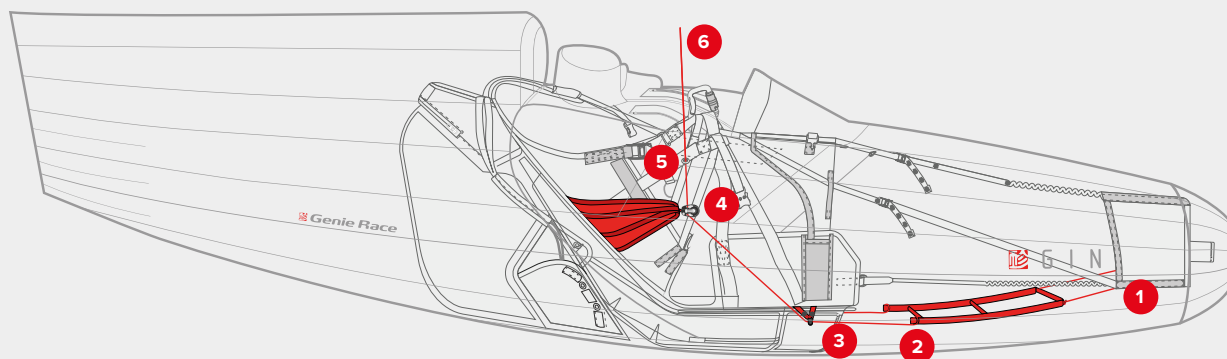
販売店がハーネスの完全性と基本設定をチェックしていることを確認してください。ハーネスの組み立ては、インストラクターなど、適切な資格を持ったパラグライダーの専門家が行ってください。ジグライダーズでは、以下の順序で組み立てを行うことを推奨しています。この手順に少しでも疑問がある場合は、インストラクター、ジグライダーまたは輸入代理店に専門的なアドバイスをお求めください。

スピードバーの装着

モビッドシステムをポッド先端から上部へと組み立てます。スピードバーのゴム紐をコクーンのフットプレートに取り付けます(1)。ラインをしっかりと結び、スピードバーに接続します(2)。スピードバーから、シートの底にある小さなプーリーにラインを通します(3)。ラインをハーネスの内側を通し、金属製のアイレットに通してください(4)。ラインをグライダーライザー(5)に接続します。

ミミュレーターに吊るした状態で、スピードバーラインの長さを調節し、バーがハーネスの前面から15cm以上下に垂れるようにしてください。ラインを短くしすぎると、フライト中にスピードシステムが常に、あるいは意図せずに作動してしまう可能性があります。スピードバーは少し長めから始め、最初のフライト後に短くする方が安全です。スピードバーのテストフライトは、新しいハーネスに慣れてから、地上より十分なクリアランスのある穏やかなコンディションで行ってください。

***** スピードシステムの調整については29ページを参照



！ 注意： スピードシステムが短すぎないことを確認してください。パラグライダーのフロントライザーは、通常の(加速していない)飛行中に引き下げてはいけません。

スピードバーをグライダーライザーに取り付ける

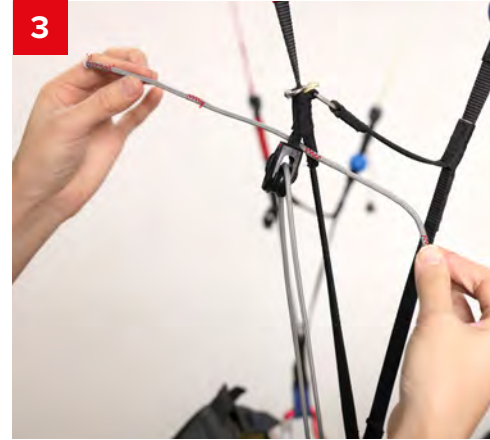
ハーネスのエアロダイナミクスを向上させるため、ジニーレース5にはスピードシステムのラインが内蔵されています。以下の手順に従って取り付けてください。



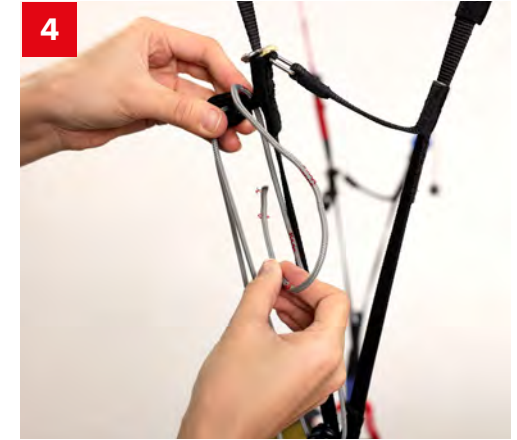
ライザーのスピードラインを取り外したら、スピードバーのラインをトッププーリーに通します。



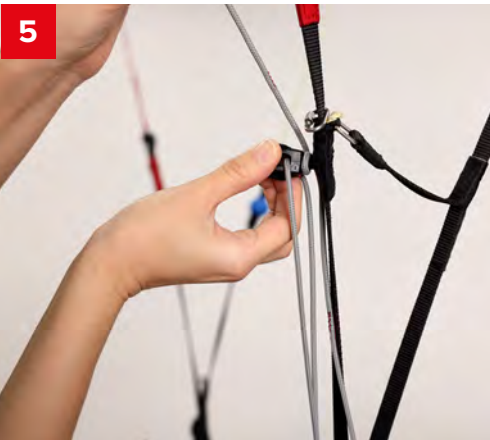
トッププーリーにラインを通した後、ボトムプーリーにラインを通します。



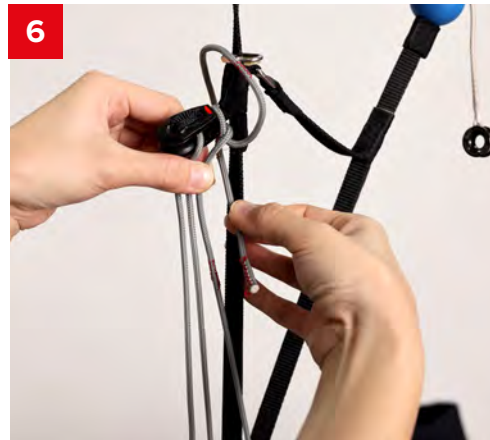
トッププーリーのトップウェビングにラインを通します。



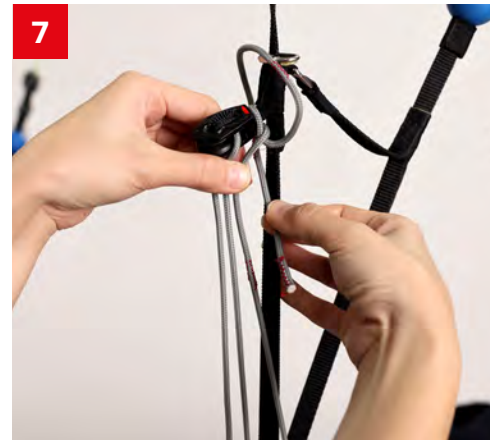
プーリーのウェビングにループを作ります。



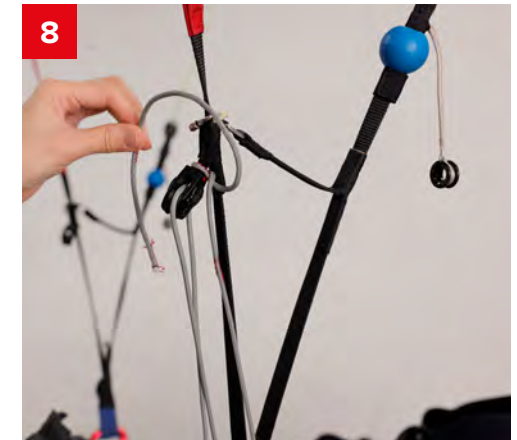
ループを締めてスピードバーラインを所定の位置に保ちます。



2つ目のループを作ります。



2つ目のループの内側にラインを通します。

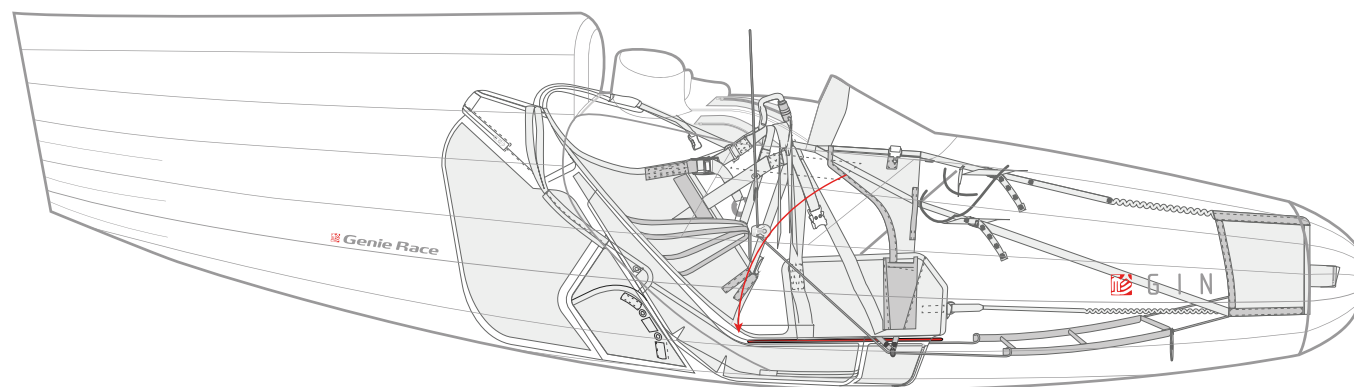


2つ目のループの結び目を締め、ラインがしっかりと固定されていることを確認します。

シートプレートの装着

シートプレートは取り外し可能で、シートの後端にあるパネルからアクセスできます。シートプレートは、丸い角がハーネスの後方に、四角い角が前方になるように取り付けてください。取り付け後は、面ファスナーフラップをきちんと閉じてください。

警告:レッグストラップをプレートの後ろに巻き忘れると、パイロットがハーネスから落ちる危険があります。

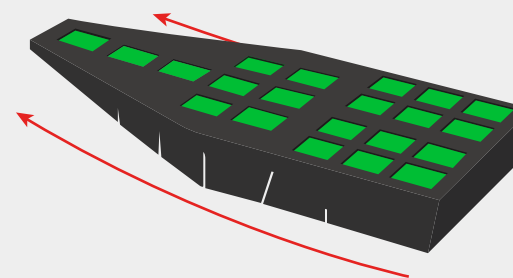
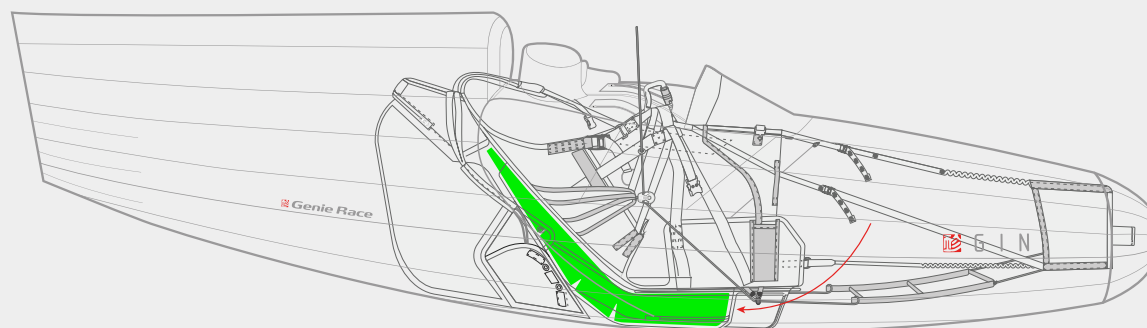


バックプロテクターの装着

ジニーレース5にバックプロテクターを取り付けるには、まずシート下のジッパーコンパートメントを開きます。バックプロテクターの細い方から挿入します。バックプロテクターを正しい位置に挿入します。狭いトップピースがバックサポートとレスキューコンテナの間に正しく収まるようにしてください。バックプロテクターがコンテナにぴったりと収まるようにしてください。プロテクターが正しく取り付けられていることを確認したら、プロテクター収納部のジッパーを閉じます。

警告:バックプロテクションは、衝突によって負傷する可能性を排除するものではありません。

警告:バックプロテクターのジッパーが完全に閉じていない場合、プロテクターは効果的に機能しません。



バックプロテクターのメンテナンス

離着陸時や運搬時の乱暴な扱い(空港の係員など)によってバックプロテクターが破損した場合に備えて、定期的に点検することをお勧めします。

破損の形跡があるバックプロテクターでのフライトは控えてください。

コロイドブロックが破損した場合、個別に交換することができます。お近くの販売店にご連絡ください。

警告:ハーネスが摂氏70℃を超える温度にさらされた場合、バックプロテクションの完全性が損なわれる可能性があります。

警告:コロイド1.0バックプロテクションの有効期限は5年です。有効期限は目安であり、使用状況、お手入れ、メンテナンスによって変わることがあります。



損傷していないセル
(交換不要)



破損したセル
(交換が必要)



NEO KOROID 1.0

サポートピラーの装着

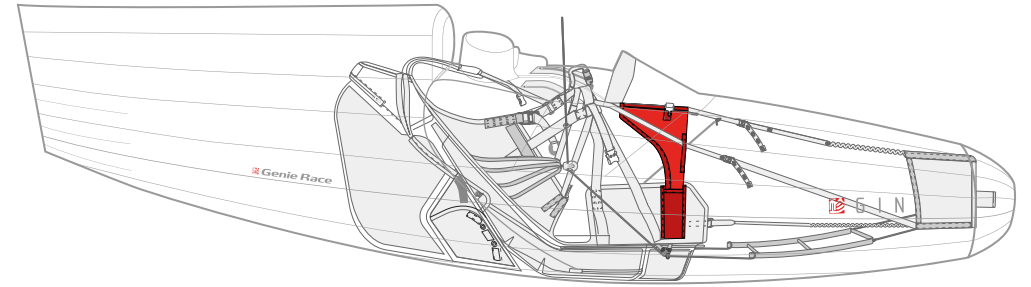
サポートピラーはバラストの重量を支えるように設計されており、フルのバラストコンテナを搭載していてもパイロットに十分な快適性を提供します。フライト中、バラストの重量はサポートピラーを通してハーネスのベース構造にかかります。

ハーネスをリュックサックに収納する際は、ランディング後にサポートピラーを取り外し、テイクオフ前に再び取り付けることをお勧めします。

バラストコンテナを使用しない場合でも、常にサポートピラーを設置してフライトすることをお勧めします。

サポートピラーを正しく設置するために、ここに表示されているガイドに従ってください。

警告: サポートピラーを取り付けたままハーネスをリュックサックに収納し、圧縮すると、ハーネスの基部を損傷する恐れがあります。



サポートピラーにウェビングやラインが巻き付いていないか、ロックされていないかを確認します。



サポートピラーが正しいポケットに挿入されていることを確認してください。



サポートピラーを右ポケットに差し込みます。



サポートピラーをポケットの端まで引っ張り、正しい位置に取り付けられているか確認します。

バラストコンテナの装着

ジニーレース5には、容量10L (Mサイズ)の専用バラストコンテナが付属します。ウォーターバラストとして使用することをお勧めします。ジニーレース5は、バラストコンテナの有無にかかわらずフライトできます。バラストコンテナにはハーネスへの取り付けポイントが6箇所あります：

ショルダーストラップに接続された2つのプラスチックバックル

これらはパイロットが地上でバラストの重量を支えるのに役立ちます。

サポートピラー後部に金属製バックル2個

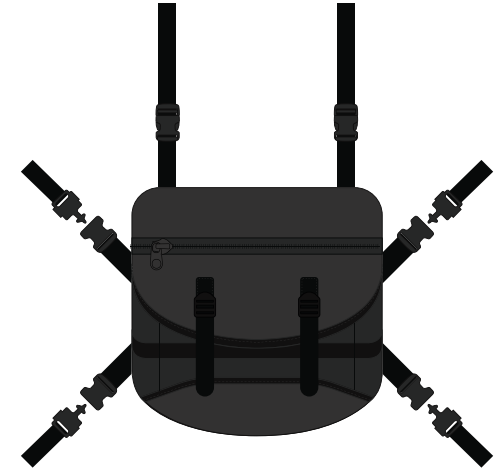
これらは飛行中にバラストの重量を支えます。

サポートピラー前部に金属製バックル2個

これらは支柱の長さに沿って荷重を安定させ、分散させます。

フライト中にバラストコンテナから水を抜きたい場合は、ベストのジッパーを開けて、水を抜くことができます。

コンテナの容量をバラストの容量に合わせるために、2本のコンプレッションストラップがあります。バラストコンテナは、アウターシェルのジッパーを閉じる前に取り付ける必要があります。



ショルダーストラップをオレンジのプラスチック製バックルで取り付けます。



リアサポートピラーのメタルバックルを接続します。



フロントピラーのメタルバックルを接続し、赤いストラップでボリュームを調整します。



アウターシェルを閉じる前に、ジッパーが閉じていることを確認してください。

レスキューパラシュートの装着

レスキューパラシュートのインストールと互換性チェック

ジングライダーズでは、レスキューパラシュートの取り付けは、資格を持った人が適切に行うことを推奨しています。レスキューパラシュートはパイロットの最後の手段であり、パッキングや接続を正しく行わないと、死亡事故や大怪我を引き起こす可能性があります。パイロットは正しい取り付けを確実に行う責任があります。

このハーネスはYeti UL、G-Lite(レスキューサイズと容量をご確認ください)、Yeti、Yeti Cross 2レスキューパラシュートに対応しています。他社製レスキューパラシュートも使用可能ですが、その機能を保証するものではありません。互換性の確認はパイロットの責任において行ってください。

レスキューパラシュートをハーネスに初めて取り付ける場合(つまり、ハーネスとレスキューシステムの新しい組み合わせの場合)には、必ずパラグライダーの資格を持った専門家による適合性のチェックが必要です。取り付けを確認するには、シミュレーターに座って開傘テストを行う必要があります。

レスキューパラシュートは少なくとも150日ごとにリパックする必要があります。レスキューパラシュートをリパックした後は、互換性チェックも行ってください。

ハーネスには専用のインナーコンテナが付属しています。レスキューパラシュートを取り付ける際は、必ずこのバッグを使用してください。他のインナーコンテナを使用すると、開傘に失敗する場合があります。



レスキューパラシュートの互換性

レスキューパラシュートがレスキューコンテナから解放できることを確認してください—これは、シミュレーターからぶら下がっているハーネスに座っているパイロットであるあなたが行う必要があります。

レスキューパラシュートの開傘

レスキューパラシュートを開傘するには、ハンドルの位置を確認し、ハンドルをしっかりと握り、ハンドルをパイロットの方に引いてハーネスから少し離し、ハーネスコンパートメントからインナーコンテナを引き出します。レスキューパラシュートをコンパートメントから引き抜くのと同じ動作で、レスキューをハンドルでスイングさせながら、クリアな空域(ライン、グライダー、ハーネスから)を探します。

ハンドルを放し、レスキューラインを伸ばしながらハンドルとレスキューを投げます。レスキューパラシュートのラインが伸びたら、レスキューがインナーコンテナから放出されて膨らみ始めるはずですが。

ネガティブスピンでは、パイロットとグライダーの沈下速度はスパイラルの状況よりも小さくなります。したがって、できるだけ大きな力でレスキューをパイロットから離し、素早くラインを伸ばしてレスキューがパラグライダーに絡まないようにすることが非常に重要です。

レスキュー展開の詳細については、レスキューマニュアルを参照してください。

ビデオマニュアル

- レスキューインストールのビデオマニュアルも確認できます
Genie Race 5
- <https://www.youtube.com/watch?v=cOgy1izpScw>



- ❗ **警告:** レスキューパラシュートの取り付けに関して疑問がある場合は、専門家のアドバイスを求めてください。
- ❗ **重要:** インストールを確認するには、シミュレーターから開傘テストを行う必要があります。

レスキューコンテナをハーネスの開傘ハンドルに取り付ける

ハーネスには、専用インナーコンテナと専用の開傘ハンドルが付属しており、必ず使用する必要があります。この開傘ハンドルのストラップをインナーコンテナに接続する必要があります。特に、開傘ハンドルとインナーコンテナに接続するストラップの長さを確認してください。ストラップがインナーコンテナにテンションを与える前にピンが抜けないという危険なしに、インナーコンテナを取り出すことができる十分な長さである必要があります。開傘に必要な動作が大きくなってしまような長さがあってはなりません。



重要: ジニーレース5には付属のインナーコンテナのみを使用してください。他のインナーコンテナを使用すると、開傘できない場合があります。

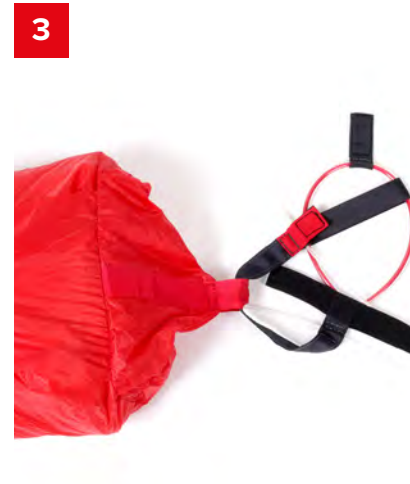
インナーコンテナ



1 開傘ハンドルの取り付け。



2 開傘ハンドルを中央のループに通します。



3 開傘ハンドル自体に通します。



4 引っ張って結び目を作ります。

インナーコンテナのパッキング

レスキューパラシュートは、以下のように付属のインナーコンテナにパッキングし直してください。



1 折り畳んだレスキューパラシュートをインナーコンテナに入れます。



2 60cmのラインをレスキューパラシュートの下に折り込みます。中央のゴムバンドでサスペンションラインを固定します。



3 パラコードをインナーコンテナの幅に合わせて左右対称に折ります。
ゴムバンドでループを固定し、インナーコンテナの底に束をきれいに積み重ねます。



4 下部のフラップを図の順序で閉じます。
ハーネスに接続するためのサスペンションラインは、40cmほど残してください。

レスキューブライダルの接続

ハーネスにレスキューパラシュートを接続するには、ジンレスキューカラビナを使用することをお勧めします。他のタイプのコネクターを使用する場合は、最大重量の20倍以上の定格荷重が必要です。例えば、弊社推奨のマイヨン6mmステンレススチールスクリューゲート(角型)コネクターの破断荷重は28kN以上です。レスキューシステムの適合性を確認し、正しく取り付けられていることを確認するのはパイロットの責任です。

通常のメンテナンスと安全点検の際には、必ずコネクターを点検してください。磨耗の兆候があればいつでも交換し、展開後は専門家にレスキューシステムを点検してもらってください。余分な摩擦を防ぐため、ラピッドカバーで接続部を覆うことをお勧めします。また、ゴムバンドを使用して接続部を固定し、余分な摩擦を防止してください。

ジン推奨:マイヨン 6mmステンレス製スクリューゲート

6MM SQUARE MAILLON
BREAKING LOAD: >28KN

MAILLON CONNECTION (ジングライダーズ推奨)



ショルダーアタッチメントポイント

ジニーレース5には、ショルダーストラップ付きレスキューブライダルがあらかじめ装着されています。レスキューブライダルが正しく装着されていることをフライト前にご確認ください。

レスキューブライダル接続部へのアクセスは、まず上部のジッパーを開け、次に面ファスナーのトンネルを開けます。

面ファスナーのトンネルとレスキューブライダルのジッパー付きトンネルは、テイクオフ前に必ず閉じてください。

警告: レスキューブライダルを接続するときは、必ずテープ、輪ゴム、または熱収縮ラップを使用して接続を固定してください。ラインがしっかりと固定されていない場合、過度の摩擦によりラインが焼けたり切れたりする可能性があります。

重要: 必ず両方のレスキューブライダルをレスキューに接続してください。



最後までファスナーを閉じ手ください。



ジッパープーラーがジッパートンネルポケットに挿入されていることを確認してください。



ハンドルをアウターシェルの面ファスナーに貼り付け、飛行中のハンドル位置を固定します。



フットパッドの装着

ジニーレース5には、2.5cm、5cm、7.5cmの3種類のフットパッドが付属しています。フットパッドはハーネスのノーズに装着します*。
フットパッドの目的は、パイロットの脚の長さに合わせてアウターシェルの長さを調整することです。フットパッドはアウターシェルのテンションを設定します。アウターシェルがきつすぎたりゆるすぎたりすると、ハーネスにしわが寄ります。フットパッドを取り付けた後、送風機でハーネスを膨らませ、正しい長さが選択されていることを確認してください。

*次ページのインストール手順に従ってください。

パイロットの身長によるフットパッドの大きさの目安、パイロットの脚の長さにより表データが異なる場合があります。

サイズ	XS	S	M	L
パイロット身長	>165	160 - 175	170 - 180	>180
2.5 CM	160 - 165	170 - 175	180 - 185	190 - 195
5 CM	155 - 160	165 - 170	175 - 180	185 - 190
7.5 CM	150 - 155	160 - 165	170 - 175	180 - 185





1 金属製バックルの付いた白いラインをバーの穴に通します。



2 プラスチック製のパラコードを白いラインのループに通します。



3 選択したフットパッドを通してパラコードを取り付けます。



4 白いループをフットパッドの反対側(マジックテープ部分)に通します。



5 交差したポケットにバーを挿入します。



6 バーを反対側を交差させたポケットに差し込みます。



7 パラコードをハーネスのフットプレートに通します。



8 金属ピンを白いループに通します。



金属ピンを小さな面ファスナーで閉じます。



大きな面ファスナーフラップを閉じます。

1



緩すぎるアウターシェル、短すぎるフットパッド

短すぎるフットパッドを取り付けると、アウターシェルが緩みテンションがかからなくなります。



タイトすぎるアウターシェル、長すぎるフットパッド

フットパッドが長すぎると、アウターシェルに強い張力がかかるため、応力によるシワができてしまいます。



正しいテンション

適切なサイズのフットパッドを取り付ければ、膨らんだアウターシェルは、ベース構造とアウターシェルとの間の張力のバランスが適切で、しわがないはずです。

ストレージ

バックポケット (1)

背中のポケットはパイロットのリュックサックやフライト中の軽いアクセサリを収納するためにデザインされています。コンプレッションロープはハーネスを確実に膨らませるため、フライト前に締める必要があります。

シート下ポケット (2)

シート下ポケットの容量は約5L (Mサイズ) で、バラストなどを入れることができます。ここにバラストを入れると、ハーネスのフライトアングルに影響を与えることを覚えておいてください。これをハーネスの微調整に利用できます...1kgでも違います。

ハイドレーションポケット / 個人の持ち物 (3)

チェストポケットはカメラやスナックなどの小物を収納できる小さめのポケットです。左胸のポケットにはハイドレーションシステム用の導線があり、キャメルバッグは専用コンパートメントのある背面ポケットに収納できます。

ラジオポケット (4)

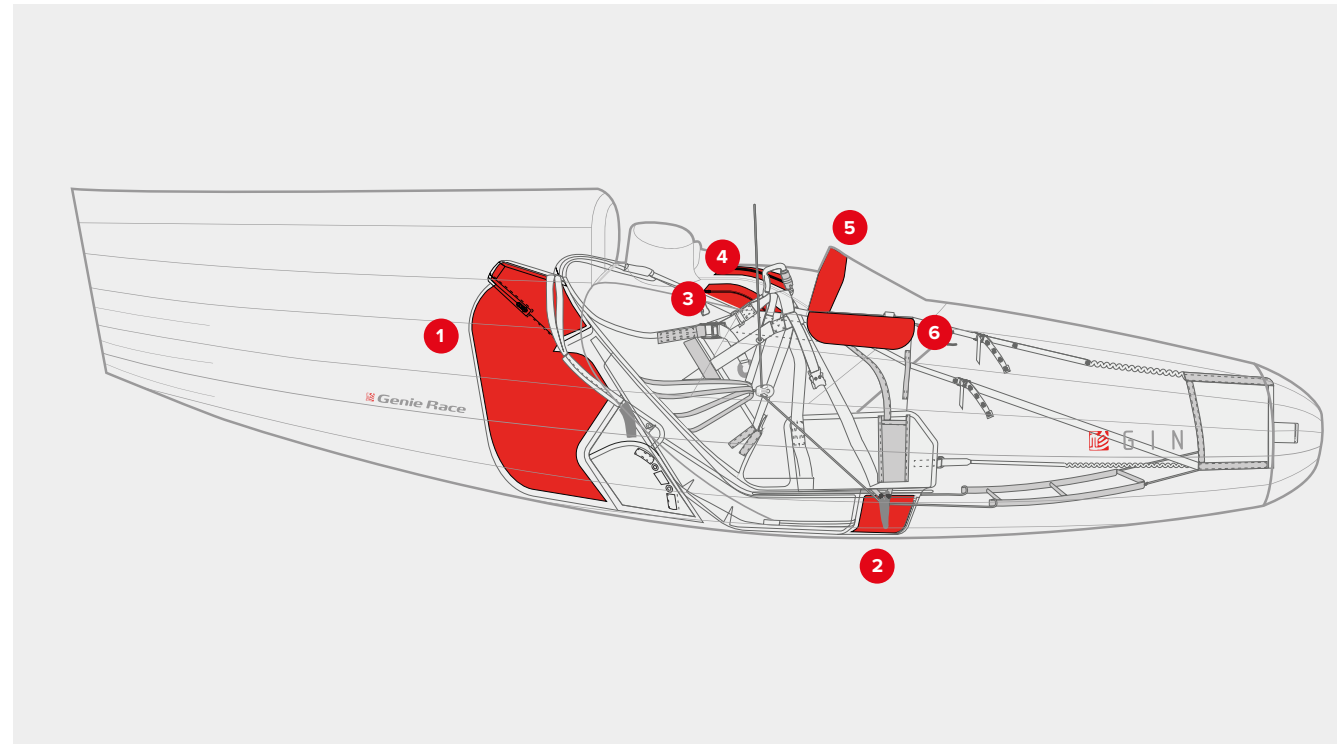
胸ポケットの内側には、カメラやスナックなどの小物を収納できる小さなポケットがあります。右胸ポケットには無線機用のチャンネルルートがあり、背面ポケットの専用コンパートメントにはハイドレーションバックを収納できます。無線機にはPTTマイクの使用を推奨しています。

コックピットポケット (5)

コックピット収納ポケットの容量は1Lで、パワーバンクやグローブなどの小物を収納できるようデザインされています。フライト中に計器類にエネルギーを供給できるようにケーブル配線が施されており、空中でもアクセスできます。

バラストコンテナ (6)

バラストコンテナの容量は9Lで、飛行中はアクセスできません。また、ランディング後に使用する他のアイテムを保管するために使用することもできます。



調整

自分の体格に近いサイズのハーネスを選んだら、体格やフライトスタイルに合わせてハーネスを調整します。テイクオフ後、簡単にシッティングポジションにスライドできるように正しく調整することが重要です。ハーネスの調整が不十分だと、パラグライダーのフライト特性に悪影響を及ぼすことがあります。

初フライトの前にシミュレーターにぶら下がって調整を行い、最初の数回のフライトで必要に応じて設定を微調整してください。

ショルダーストラップ (1)

ショルダーストラップの最適な設定はパイロットの身長によって異なります。ハーネスを装着し、バストストラップを閉じて直立し、左右対称にショルダーストラップを調整します。

締める: 赤い点線の輪を下に引いてください。

緩める: ショルダーストラップ上部のブラックのループを引き上げてください。

バストストラップ (2)

ショルダーストラップを調整した後、バストストラップを快適な位置に置き、ショルダーストラップにわずかに圧力がかかるように締めます。

レッグストラップ

レッグストラップの長さは調節できません。

ABSストラップ (3)

ABSシステムの調整はできません。

ランバーストラップ (3)

バストストラップの下に、腰部ストラップを調整するためのバックルがあります。すべてのシートで背中を完全にサポートするには、背圧が均等に分散されるまでストラップを締めます。

注意: 調整を行う前に、レスキューシステムがインストールされていることを確認してください。

ビデオマニュアル

- ハーネスのビデオマニュアルもご覧ください
settings of the Genie Race 5
- <https://www.youtube.com/watch?v=Rcmh4rn5UZk>



ラテラルストラップ (1)

横方向のストラップで、太ももと背中との角度を調整することができます。ストラップを長くすると角度が大きくなり、逆に短くすると角度が小さくなります。ストラップを正しく調整する最も簡単な方法は、穏やかな空中でのフライト中です。仰向けの姿勢(背もたれにもたれる姿勢)でフライトすると、ハーネスの安定性が低下し、潰れた後にライザーがツイストする危険性が高くなることを覚えておいてください。

締めるには、**黒と赤のループ**を手前に引きます。緩めるにはメタルトリマーのボタンを押します。

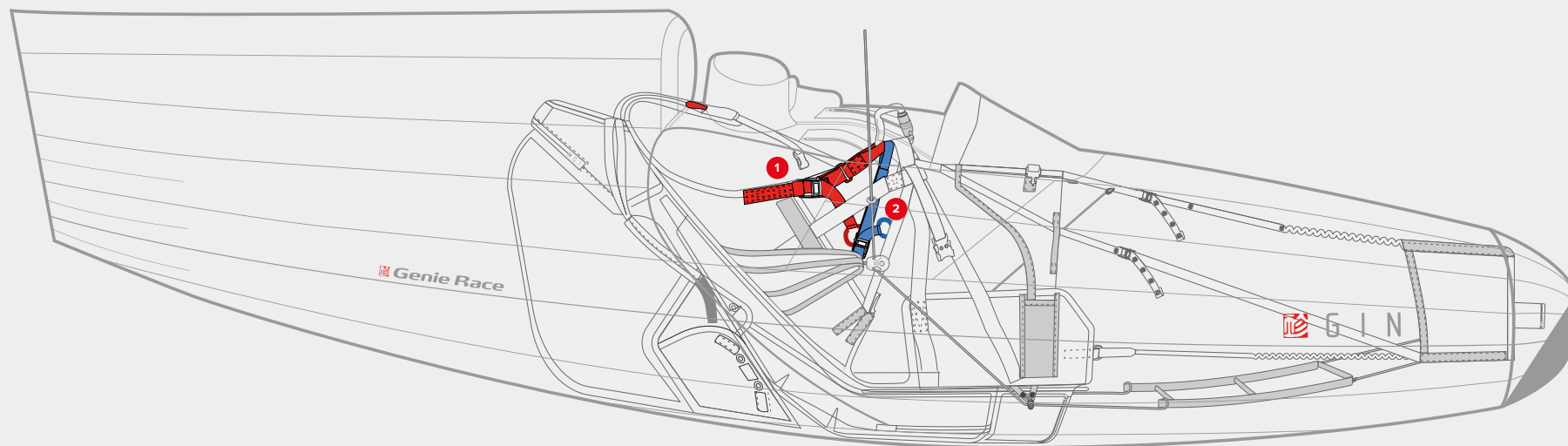
サイドストラップ (2)

サイドの調整ストラップで腰の角度を調整できます。最適な設定を得るには、座った姿勢でストラップを最大限に緩め、パイロットの飛行スタイルに応じて最高の快適性が得られるまで、ストラップを引っ張って調整します。

締めるには、**黒いウェビング**を引き上げます。緩めるにはバックルを引き上げます。

スピードバー

シミュレーターに吊るした状態で、スピードバーコードの長さを調節し、バーがハーネスの前面から15cm以上下に垂れるようにしてください。コードを短くしすぎると、フライト中にスピードシステムが常に、あるいは意図せずに作動してしまう可能性があります。スピードバーは少し長めから始め、最初のフライトの後に短くする方が安全です。スピードバーのフライトテストは、新しいハーネスに慣れてから、地面から十分な高さのある穏やかなコンディションで行ってください。



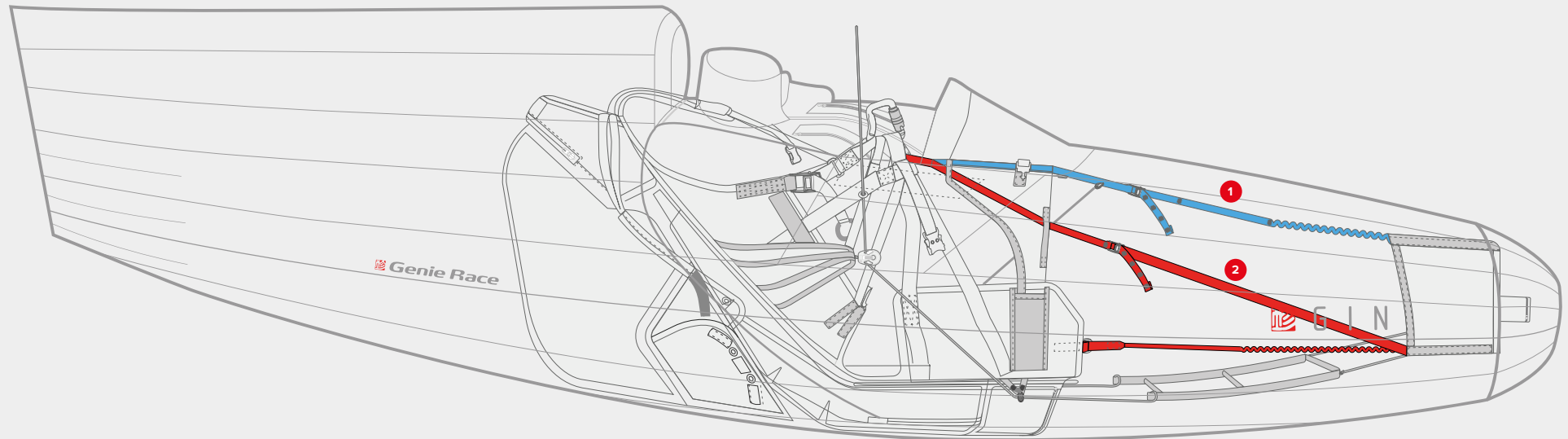
- ① ラテラルストラップ
- ② シートストラップ

コクーンの調整

コクーンはタイトに、ハーネス生地が滑らかでシワのないようにして、最も空気力学的な形状を作ることが重要です。コクーンのノーズは直線で、やや下を向いていることがポイントです。

(1) 上部のラインを締めるとコクーンのノーズが高くなり、緩めるとノーズが下がりコクーンの長さが長くなります。左右対称を保つために、各調整ラインには7つのマーカーがあります。

(2) ポッド全体の長さを調整するために下側のラインを締めます。左右対称を保つために、各調整ラインには7つのマーカーがあります。



コクーンのアタックアングル

ハーネスの性能を最大限に引き出すには、水平線に対してアタック角を 0° にする必要があります。ノーズが高すぎると、パフォーマンスだけでなく視界にも影響します。ノーズが低すぎると、パフォーマンスに悪影響を及ぼします。



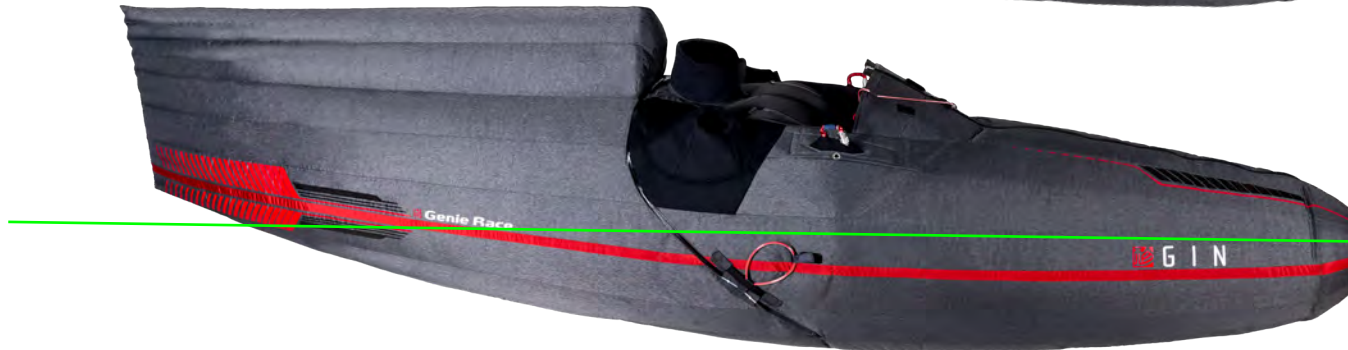
脚が高すぎる

上のラインを解放する



脚が低すぎる

上のラインを引く



正しいポジション

ハーネス装着ガイド

ハーネスを正しい順序と方法で装着することは非常に重要です。レッグストラップを忘れたり、ハーネスの装着方法を誤ったりすると、死亡事故につながる恐れがあります。

ハーネスの装着方法については、以下のガイドに従ってください。

警告:レッグストラップの接続を忘れると、パイロットはハーネスから脱落する危険性があり、命にかかわることがあります。



ショルダーストラップの内側に腕を入れ、ベストのアームホールから腕を出します。ショルダーストラップも着用していることに注意してください。



もう一方の腕も通します。



一番目のチェストメインアルミニウムバックルを閉じます。



次のバックルを閉じます。



ビデオマニュアル

- ・ ハーネスのビデオマニュアルもご覧ください
wearing guide of the Genie Race 5
- ・ <https://www.youtube.com/watch?v=c6SuDh3RFPg>

バラストコンテナの取り付け(オプション)

バラストコンテナは必要な場合のみ取り付けてください。必要がない場合は、次ページの説明に進んでください。



ショルダーストラップをオレンジのプラスチック製バックルで取り付けてください。



フロントピラーの金属バックルを接続し、赤いストラップでコンテナの容量を調整します。



フロントピラーの金属バックルを接続し、赤いストラップでコンテナの容量を調整します。



ハーネスの OUTER SHELL を閉じる前に、ファスナーが閉じていることを確認してください。

トップファスナーを閉じる

ファスナーのスライダーを取り付け、ファスナーを最後まで完全に閉じてください。ファスナーが完全に閉まっていないと、ハーネスの空気圧が低下します。これはコクーン形成に影響を与え、性能の低下につながる可能性があります。



1
ファスナーのスライダーをトップファスナーの下部に取り付けます。



2
ファスナーの上までスライダーを引きあげてください(首まで)。

ボトムファスナーを閉める

ファスナーのスライダーを取り付け、ファスナーを最後まで完全に閉じてください。ファスナーが完全に閉まっていないと、ハーネスの空気圧が低下します。これは外形に影響を与え、性能の低下につながる可能性があります。



ボトムファスナーの上部にファスナーのスライダーを取り付ける。



ファスナーの下端までスライダーを引く。

フライトデッキの装着

フライトデッキの装着は、ハーネスのフロント部分の形状を正しく保つために義務付けられています。



ハーネス背面の面ファスナーとデッキのオスの面ファスナーを接続する。



フラップを閉じてデッキを固定します。



アルミニウムスティックをアイレットに通します。



もう1本のアルミスティックをつなぎます。



テイクオフ前にフライトデッキをハイアングルにしておくと、飛行中にスティックラインがフライトデッキを正しい飛行位置まで引っ張ってくれます。



フライト中のポジション。

コクーンファスナーを閉める(テイクオフ後)

ジニーレース5はデュアルファスナーシステムを採用しています。このシステムは、パイロットが座った状態からファスナーを引いて簡単に開閉できるようにするラインシステムを通して機能します。ファスナーは空中で開くことができ、ハーネス内の空気をリフレッシュしてから再び閉じることができます。



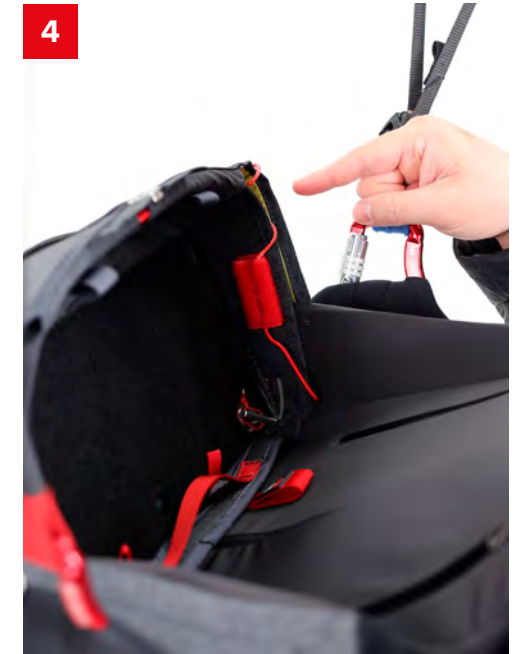
赤いラインを引きます。



スライダーがトラックの端に達するまで引いてください。



赤いラインには磁石が付いていて、コックピットの右上に取り付けポイントがあります。



余分なラインを専用ポケットに収納し、面ファスナーをフライトデッキの側面に貼り付けます。

コクーンのパスナーを開ける(ランディング前)

デュアルファスナーシステムにより、どんな状況でもハーネスを簡単に開くことができます。コクーンのパスナーを開ける際は、十分な高度と時間をとってから地面に近づくことをお勧めします。コクーンを閉じたまま着陸すると事故につながる恐れがあります。

1

白いラインを引っ張ります。ファスナーが開くと赤いラインにテンションがかかりますので、赤いラインがハーネスのポケットに引っかからないように注意してください。

2

ランディングに近づいたら、コクーンから足を外してください。ランディングに備え、余裕を持ってコクーンを開くことを強くお勧めします。脚をコクーンの中に入れてそのまま着地すると、危険な状況になる可能性があります。

ジニーレース5でフライトする

一般的な警告とアドバイス

毎回フライトの前に、以下をチェックしてください:

- ◎心身ともに健康ですか？
- ◎地域で適用されるすべての法律と規制に精通し、順守していますか？
- ◎パラグライダーの認定重量範囲内ですか？
- ◎必要で有効な保険(賠償責任、医療、生命など)に加入していますか。
- ◎エリア、エアスペース、当日の予想される天候について十分なブリーフィングを受けていますか？
- ◎あなたの装備とエリア選択は、あなたの経験レベルに適していますか？適切なヘルメット、グローブ、ブーツ、アイウェア、適切な衣服を着用していますか？
- ◎身分証明書を携帯し、万が一の事故の際にあなたが誰なのかがわかるようにしていますか？可能であれば、無線機や携帯電話も携帯しましょう。
- ◎新しい機材の安全な使用方法を完全に理解していますか？そうでない場合は、インストラクターまたは販売店に不明な点を説明してもらいましょう

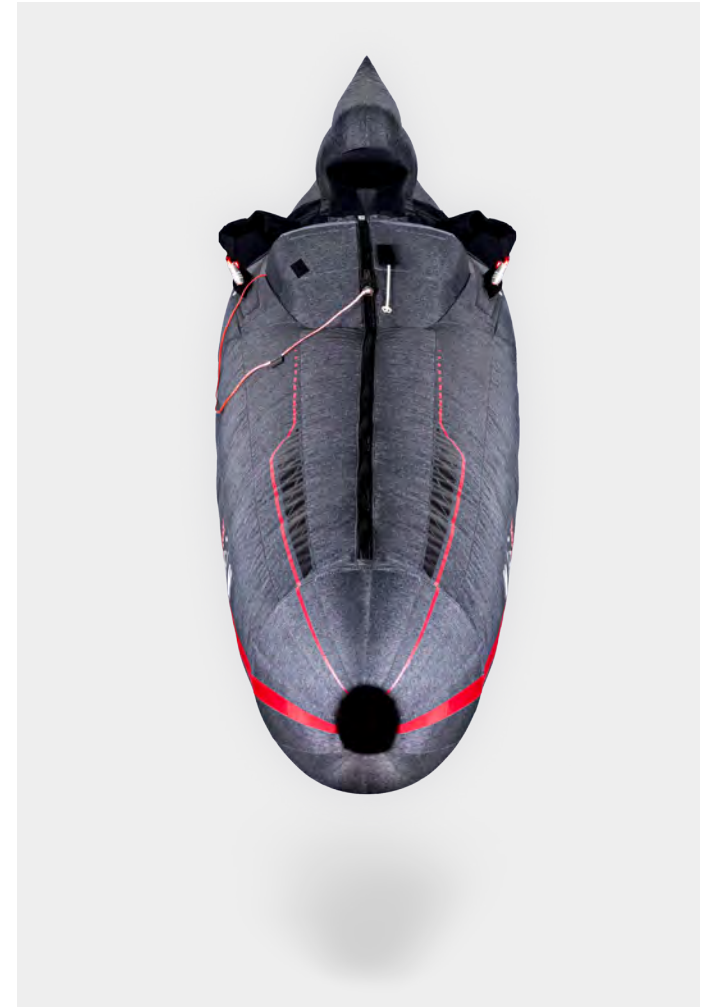
新しいハーネスで初フライトをする際は、不慣れなことが起きないように日と場所を選ぶようにしてください。

初フライトでは、新しいハーネスのフライト中の特性に慣れてください。

プレフライトチェック

通常のプレフライトチェックの一環として点検を行ってください:

- ◎ハーネスやカラビナに耐空性に影響するような損傷はありませんか？
- ◎レスキューパラシュートのコンテナは、ピンが正しい位置にあり、正しく閉じていますか？
- ◎開傘ハンドルは正しく挿入または取り付けられていますか？
- ◎バックル、ベルト、ジッパーはすべてしっかりと締められていますか？バックルを閉じると、カチッと音がして所定の位置に収まります。留められたバックルを軽く引くと、これが確認されます。バックルを締めた後、ジッパーをしっかりと締めてください。雪や砂の多い環境では特に注意してください。
- ◎パラグライダーがハーネスに正しく接続され、両方のカラビナがロック機構で固定されていますか？
- ◎スピードバーはグライダーに正しく取り付けられていますか？
- ◎すべてのポケットはきちんと閉められ、緩んでいるものは安全に縛られていますか？
- ◎エアチャンバーのインテークは開いていますか。
- ◎レッグストラップとチェストストラップは閉じましたか？テイクオフ前に再確認してください。



i 重要: プレフライトチェックは、完全で一貫性のあるルーチンで、毎フライト同じ順序で繰り返してください。

i 重要: ジニーレース5の最大積載重量は120kgです。

レスキューパラシュートの開傘

緊急事態が発生した場合、自分の高度と事象の深刻さを迅速に判断する必要があります。高さが不十分な場合、レスキューパラシュート開傘をためらう一瞬の躊躇が致命傷となる可能性があります。一方で、グライダーが回復可能な場合にレスキューパラシュートを開傘すると、不必要な負傷を招く可能性もあります。

レスキューを展開することにした場合:

- 1) レスキューハンドルを探し、片手でしっかりとつかむ。
- 2) ハンドルを前方上方に引いて、レスキューパラシュートコンテナからインナーコンテナを外します。
- 3) レスキューパラシュートを自分自身とグライダーから遠ざけるように、できれば気流に乗せるか、スピンの方向と反対に投げて(そしてリリースして！)ください。開傘後は、B,C,Dまたはブレイクラインをできるだけ左右対称にグライダーを引き込むことで、もつれや振り子運動を避けることができます。
- 4) 着地する際は直立姿勢をとり、ケガのリスクを最小限にするためにPLF(パラシュートランディングフォール)の準備をしておくことが重要です。

ジニーレース5でランディングする

ランディング前に、白いラインを引っ張ってファスナーを開ける必要があります。その後、ハーネスの中で足を前方にスライドさせ、立った姿勢をとります。たとえバックプロテクションがあったとしても、座った姿勢で着地することは非常に危険です。着地前に立ち上がることは、積極的な安全予防策です。



重要:緊急時にレスキューハンドルに手を伸ばす動作が本能的にできるように、通常のフライトでは、定期的にレスキューハンドルの位置を確認してください。

警告:フライト中のいかなるアクシデントにおいても、常に高度をモニターしてください。回復に十分な高度があるかどうか疑わしい場合は、ためらうことなくリザーブを展開してください。「疑わしければ、出せ！」です。

注意:レスキューを開傘した後は、レスキューコネクションポイント、レスキューブライドル、その他の部品に損傷がないことを確認するため、資格を持った専門家にハーネスを徹底的に点検してもらうことが重要です。



トーイング

ジニーレース5は、トーイングランチに使用できます。ジントーイングブライダルはメインカラビナに直接フックすることができます。詳しくは、トーイングリリースに付属している説明書を参照するか、エリアのトーイングインストラクターにお尋ねください。



タンデムフライト

ジニーレース5はタンデムフライト用にデザインされていません。タンデムフライト専用ハーネスの詳細については www.gingliders.com をご覧ください。



水の上を飛ぶ

バックプロテクターにより、パイロットが頭を下げた姿勢で浮くリスクが高まるため、着水は絶対に避けるべきです。水上でのセーフティレーニングには、無意識の状態でも頭部を水面上に保持するヘッドサポート付きの適切なフローテーションベストの着用をお勧めします。コクーンのジッパーを閉めたまま着水しないでください。

メンテナンスと修理

このハーネスに使用されている素材は、最大限の耐久性を得るために厳選されたものです。ハーネスをできるだけ長く安全にお使いいただくために、ハーネスは常に清潔に保ち、通気性を良くしてください。

ケアとメンテナンス

荒れた地面や岩場でハーネスを引きずらないでください。紫外線、高温多湿な場所での使用は避けてください。折りたたんだハーネスは、使用しない時はリュックサックに収納してください。

機材はすべて涼しく乾燥した場所に保管し、湿ったままや濡れたまま保管しないでください。定期的にプラスチック製のブラシや湿らせた布で汚れを落としてください。ハーネスが著しく汚れた場合は、水洗いしてください。レスキューパラシュートなどのサブコンポーネントをすべて取り外してください。ハーネスは直射日光の当たらない風通しの良い場所で自然乾燥させてください。レスキューパラシュートが濡れた場合(着水時など)、ハーネスからレスキューパラシュートを切り離し、乾燥させてからインナーコンテナに戻してください。

ハードランディングの後は、ハーネスとプロテクターに損傷がないかチェックし、レスキューコンテナに細心の注意を払い、すべてのアタッチメントがしっかりと固定されていることを確認してください。

軽微なダメージが生じた場合、ジニーレース5のアウトターシェル専用のリペアシートを注文することができます。ご注文はお近くの販売店までお問い合わせください。

アウトターシェルに大きな損傷が生じた場合は、別途ご注文いただき、ベースに簡単に取り付けすることができます。お近くの販売店にご注文ください。

検査チェックリスト

パイロットは、レスキューパラシュートをリパックするたびに以下の点検を行い、24ヶ月後または飛行時間200時間のどちらか早い方で専門家による点検を受ける必要があります。また、墜落、ランディングやテイクオフの失敗、損傷や過度の磨耗の兆候が見られた場合は、追加点検を行う必要があります。不明な点がある場合は、必ず専門家のアドバイスを受けてください。

重要: 修理は、メーカーまたは認定代理店のみが行ってください。そうすることで、正しい材料と修理技術を使用することができます。

重要: ハーネスのウェビングに何らかの損傷がある場合、決してフライトしては行けません。

次のチェックを実行する必要があります：

- ◎すべてのウェビング、ストラップ、バックルに磨耗や損傷（縫い目の開き、破れ、切断など）がないか、特にカラビナのフックインポイントの内側など、目につきにくい部分をチェックしてください。
- ◎問題の悪化を避けるため、縫製はすべて無傷で、異常があれば直ちに対処しなければなりません。
- ◎レスキューの取り付け、特に伸縮性のある部分とベルクロ部分には特別な注意を払う必要があります。
- ◎メインカラビナは、少なくとも5年ごと、または500時間経過後のいずれか早い時点で交換する必要があります。衝撃により検出できない亀裂が生じ、継続的な負荷がかかった場合に構造的な故障につながる可能性があります。
- ◎プロテクターを注意深く目視検査し、エアバッグに空気を充填して漏れないか確認し、破れやフォームの回復を検査する必要があります。

修理

ハーネスの重要な部分に関わる修理は、メーカーまたはジン正規ディーラーが行う必要があります。これにより、正しい材料と修理技術が使用されることが保証されます。アウターシェル小さな破れを補修するために、専用のリペアシートを注文することができます。

保管

温度10度～25度、相対湿度50～75%で保管してください。ネズミや猫などの動物が寝床にするような場所にハーネスを保管しないようにしてください。

ハーネスを化学薬品（水を含む）の近くで保管しないでください。例えばガソリンはハーネスの素材を分解し、ハーネスに大きな損傷を与えます。ハーネスを車のトランクに入れる際は、予備のガソリン缶やオイル容器からできるだけ離してください。

ハーネスは極端な高温にさらさないでください。高温は加水分解を促進し、特に湿気と合わさった場合、繊維やコーティングにダメージを与えます。ハーネスはラジエーターなどの熱源の近くに保管しないでください。

コクーンがうまく膨らまない場合は、インテークが塞がれている可能性があるため、バックポケットに入れるものを減らしてください。



ジン品質とサービス

弊社は製品の品質に誇りを持ち、製造上の欠陥に起因する、お客様の機材の安全性や機能に影響を与えるいかなる問題も是正することをお約束します。お客様の機材に問題が生じた場合、ジン販売店が最初の連絡先となります。販売店またはジンインポーターに連絡できない場合は、ジングライダーズのウェブサイトから直接お問い合わせください。

ジン生涯保証

ジングライダーは、すべての製品の品質、クラフトマンシップ、パフォーマンスを保証することに誇りを持っています。材料または製造に欠陥がある機材は、製品の実際の耐用年数の間、ジングライダーの裁量により修理または交換されます。消耗、誤用、または不注意により破損した機器については、わずかな料金で修理できる場合があります。

機材に問題がある場合は、まずお近くのジン販売店、またはジングライダーズのウェブサイトから直接お問い合わせください。

環境への配慮

私たちは、傑出した自然の美しさを誇る地域で飛行できる特権を与えられています。環境に与える影響を最小限に抑えることで、自然を尊重し保護しましょう。その地域を訪れる際には、環境的に敏感な地域や地域の制限の詳細について、地元のクラブにお問い合わせください。

ジングライダーズはハーネスのライフサイクル全体に配慮しており、その最終段階は環境に優しい方法でリサイクルすることです。ハーネスに使用されている合成素材は適切に廃棄されなければなりません。適切な処分ができない場合は、ジングライダーズが喜んでハーネスをリサイクルいたします。ハーネスにその旨を記した簡単なメモを添えて、ジングライダーズに送ってください。

製品登録

製品を登録すると、安全に関する重要な最新情報を受け取ることができます。

www.gingliders.com/register



最後に...

今日、私たちの多くは規制され、保護される依存社会に生きています。パラグライダーなどのエクストリームスポーツでは安全が基礎ですが、社会の中で個人が自己責任能力を養う機会ほとんどありません。

ほとんどの事故は、自分の経験レベルに対して厳しすぎる状況に陥ることによって引き起こされます。これは、基本的な理解が不足していたり、リスクを評価する能力がなかったり、単に周囲の状況や自分自身の精神状態に十分注意を払っていなかったりする場合に起こります。

安全を保つためにできる最善のことは、自分が安全に管理できる速度で理解、技術、経験を高めることです。自己責任と適切な判断に代わるものはありません。

結局のところ、パラグライダーは自分の運命を自分でコントロールすることを学ぶまたとない機会を提供してくれるのです。Memento mori, carpe diem!(ラテン語で「自分がいつか必ず死ぬことを忘れるな」の意味)



GIN

安全に飛んで、そして...楽しんで！

ジンチーム



テクニカルデータ

サイズ	XS	S	M	L
カラビナ間の距離 (cm)	44	45	45	47

認証

EN / LTF認証、最大荷重120daN
 認証番号:PH 387.2023 | CE認証

パラシュートコンテナ

バックサポートの下に一体化したダブルコンテナ

バックプロテクション

KOROYD 9cm Back Protection

マテリアル

ハーネス素材	
アウター	?
インナー	Nylon HD 210
ウエビング	Nylon HD 210Nylon 20mm
	Polyester 30mm/25mm/20mm
糸	100% Polyester, P/F 210D/9 bonded, P/F 210D/4 bonded & P/F 210D/6 bonded

パイロットの詳細／所有権証明

1. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

2. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

3. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

ハーネス詳細

サイズ	カラー	シリアル番号
チェックフライト(日付):		
マークとサイン:		

検査と修理の概要

日付	実施された作業	配送に関する一般条件	実施(名前)	スタンプ/サイン

ハーネス図



ハーネス図

- 1 バックポケット
容量30L
- 2 2×レスキューコンテナ
容量9800cm³ (M size)
- 3 2×レスキューハンドル/インナーコンテナ
- 4 シート下ポケット
容量 3L、バラストに最適
- 5 サポートピラー
- 6 バラストコンテナ
容量 9L
- 7 広い外部コックピット
飛行中でも簡単にアクセス可能
- 8 2×チェストポケット
食品や小物用
- 9 H2O + 無線マイクのルート
バックポケットに収納
- 10 30mm ジンアルミカラビナ
- 11 ショルダーストラップ
飛行中に調整可能
- 12 ラテラルストラップ
飛行中に調整可能
- 13 レッグレンガ調整
- 14 コクーン角度調整
- 15 3段非対称スピードバー
付属
- 16 フロントエアインテーク
- 17 フッドパッド付きフロントパッド
3種類の長さ:2.5cm/5cm/7.5cm
- 18 アレン-A2030Tii プーリー
(シングル Til-On 8mm)
- 19 両開きジッパーシステム
簡単な開閉システム
- 20 カテーテルシステム用出口
(小水用チューブ)
- 21 コブラバックル
ゲットアップシステム
- 22 9cm フルコロイドプロテクター





Gin Gliders

2318-32, Baegok-daero,
Mohyeon-myeon, Cheoin-Gu,
Yongin-city, Gyeonggi-Do,
17036 Korea

www.gingliders.com